

SCORE REPORT

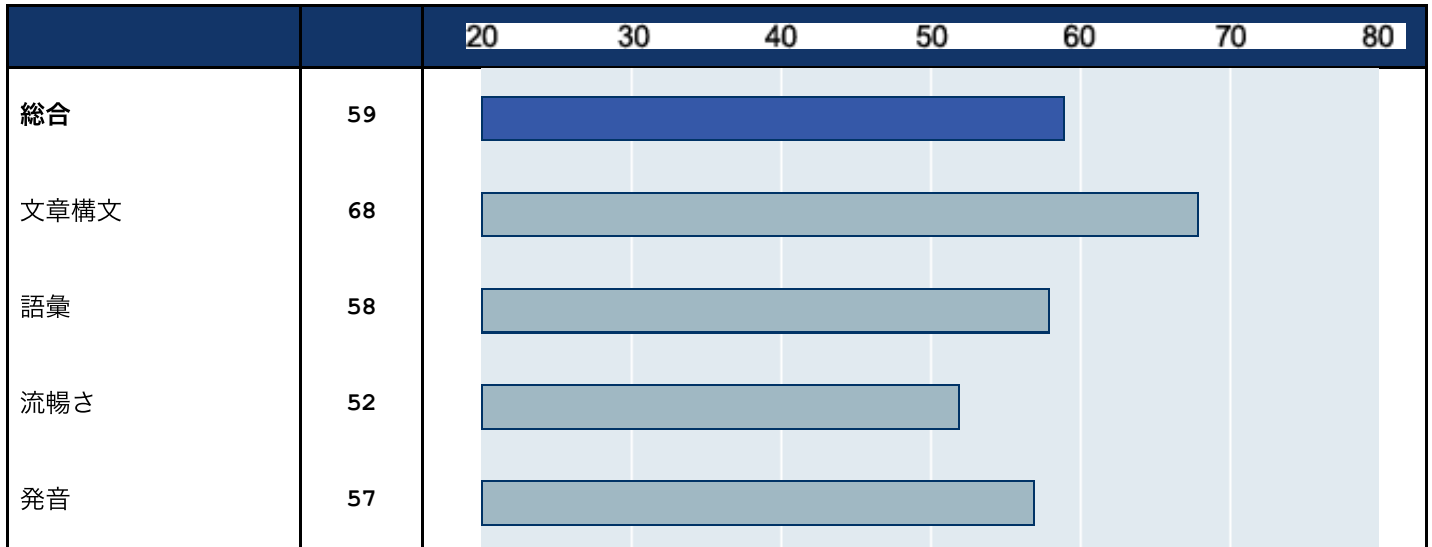


Versant English Test (Demo)

テスト用紙番号: 12345678

受験日: 6月 3, 2009

受験終了時間: 9:39 午前 (UTC)

59

総合	総合スコアは、日常的な話題についてネイティブの会話スピードで口頭英語を理解し、明瞭に話す能力を示します。総合スコアは4つの能力別スコアの加重平均により判定され、20から80の範囲でレポートされます。
受験者の能力	様々な場面や状況に応じて話し方を変えることができ、ネイティブスピーカーのようなテンポの会話でも参加することができる。基本的に流暢でスムーズに、かつ明瞭に話すことができる。複雑な話題にも適切な構文を用いて対処できる。

© 2012 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved.

Ordinate and Versant are trademarks, in the U.S. and/or other countries, of Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). Other names may be the trademarks of their respective owners.

For more information, visit us online at www.VersantTest.com

PEARSON

SCORE REPORT



テスト用紙番号: 12345678

各スキルの点数の説明

文章構文	文章構文は、発言を把握し、それを逐語的に発話する能力です。構文力や文章内における適切な単語、句、および節の使用の習熟度によりスコアが判定されます。	様々な語句や文節を理解、記憶、使用することができる。概ね正確で意味のある文を発話する。
語彙	語彙力は、構文中の日常的かつ一般的な単語を理解し、自在に表現する能力です。日常的な単語の形式と意味の理解、また関連する発言におけるそれらの用法の熟達度によりスコアが判定されます。	日常会話で使われる大部分の単語を自然な口語体の中で理解し、使うことができます。
流暢さ	流暢さは、文章の組み立て、読み、反復の際のリズム、区切り及びタイミングの取り方の能力です。	語句の切れ目やポーズを取る位置などが不適切な場合が見られるものの、ある程度リズムよく話すことができる。言い淀みや繰り返し、言い直しがあり流暢さを失うことがあります。
発音	発音は、文脈においてネイティブ同様に子音や母音を発音し、強勢を置くことのできる能力です。日常単語の音韻構造の知識によりスコアが判定されます。	母音及び子音の発音は基本的に明瞭であるものの、ときに発音が不明瞭になることがあります。多くの単語について正しく強勢を置くことができますが、強勢母音の位置が不明確になることがあります。発話は全般的に明瞭ですが、聞き手の中には受験者の外国語訛りが最初は分かりにくいと感じる人います。

SCORE REPORT



テスト用紙番号: 12345678

言語能力の詳細

このセクションでは、Versantテストにおいてある一定以上のスコアを獲得した、平均的受験者ができるとされる課題やインタラクションを記述しています。ここにある情報は、豊富な経験を持つ評定者の評価を分析した結果に基づいています。受験者の評価は、個人的な意見や見解を述べる自由回答式質問などVersant English Testの様々な質問に対する回答に基づいています。

スコアの解釈は、東アジア、中東、南米、東西のヨーロッパ諸国など、22の言語背景を持つ多様な受験者サンプルに基づいています。また男女の比率は同じであり、受験者の年齢は12歳から65歳までと広い年齢層に基づいています。（平均年齢は25歳）

このセクションはヨーロッパ言語共通参照枠組 (欧州評議会, 2001) に基づいています。評定者はここに記述されている評価基準を用いて各受験者の回答を評価しました。

ここに記載されている情報は多数の受験者の平均得点に基づいており、あくまでも平均的受験者の能力を示しています。受験者によってはパフォーマンスが記述よりも若干高めまたは低めということがあり得ます。（個人の結果については1-2ページ目にある「現在の能力」を参照してください。）

リスニング	- 個人的、社交的、学術的、あるいは職業上の場面で遭遇するさまざまな話題を標準語で話されていれば、理解することができる。非常に大きな雑音がある場合、話の構成が不十分である場合、あるいはイディオムが使用される場合のみ、理解度が落ちる。 - ネイティブ・スピーカーとの活気に満ちた会話についていくことができる。 - 通常の速さの標準語であれば、具体的な話題も抽象的な話題のアナウンスやメッセージも理解することができる。 - ほとんどのニュース番組や時事問題の番組の内容を理解することができる。 - 標準語で話されるドキュメンタリー、生インタビュー、トークショー、芝居、そして標準語で話される映画の大部分を理解することができる。
発話能力	- 個人的に興味のある分野の様々な話題について明確で詳細な説明ができる。 - 選択肢が様々ある中でそれぞれの利点や不利点を上げながら、時事問題に対する見解を説明することができる。 - 大抵の一般的な話題において、聞き手がストレスや不便を感じることもない程度に明確性、流暢さ、自然さを備えた発表を行うことができる。 - 予め準備された文章から自然に離れ、聴衆から提起された興味深いポイントに、流暢にかつ滑らかな表現を随所に示しながら受け答えすることができる。
対話能力	- 広範囲の話題（一般的、学術的、職業的、あるいは娯楽に関して）について、流暢で正確にそして効果的に言葉を使うことができ、一つ一つの考えとの関係を明確に示すことができる。 - 言いたいことが制限されているような様子をほとんど見せることなく、かつ状況に応じて言葉を使い分けながら文法を正確にコントロールでき、自然なコミュニケーションが取れる。

SCORE REPORT



テスト用紙番号: 12345678

言語特性	• 言いたいことが伝えられないという様子をそれほど見せることなく、自分の考えを明確に説明できる。 • 同じ表現の繰り返しを避けるために言い方を換えることはできるが、語彙力の不足により言葉に詰まったり遠回しな表現となることがある。 • 文法を正確に使用できる。言い間違いや偶発的な間違い、些細な誤りが文章構成の際にまだ見られるが、間違いはまれであり思い出せば修正できる。 • 明瞭で自然な発音とイントネーションを習得している。 • 複数にわたる考えを明確に関連付けるために、多様な接続語を効率的に使用することができる。 • 長く複雑な会話の時でさえ、非常に流暢で表現も滑らかに会話ができる。
方略能力と技能	• 話を切り出す時や話の途中で考える時間を稼ぐために必要となる適切な語句をレパートリーの中から選ぶことができる。 • 適切な言葉を駆使しながら、適切に議論に立ち入ることができる。 • 時に滑らかにには行なえないものの、会話を始めたり、タイミング良く発言したり、必要な時に会話を締めくくることができる。 • 分からない単語や構文を遠回しな表現もしくは言い換えを用いて表現できる。 • 言い損ないや間違いなどに気づいた際、またはそれにより誤解を招いた際にはその間違いを修正できる。 • 事実や想像に基づいた様々な種類のテキストを対立する見解や主題について意見を述べたり議論しながら要約できる。 • ニュース、インタビュー、ドキュメンタリーの抜粋を意見、議論、討論を含め要約できる。 • 映画や演劇のあらすじや物事が起こった順序を要約できる。

英語力をさらに向上させるには、以下の項目などを練習してみましょう。

- スタイルの違う様々な長めの発話を積極的に聞くこと。（例：演説、講義、ニュース、討論等）得意分野だけに限らず、様々な分野の抽象的で複雑な話題を聞くこと。
- 単語のレパートリーを広げることに力を入れましょう。（慣用句や口語的表現のレパートリーも含む）
- 難しい話題について明瞭かつ詳細に説明する練習をする。
- 微妙な意味の違いを正確に伝えるように適切なストレスやイントネーションを使えるように練習する。
- 公式的・非公式的な場面に関わらず、質問やコメントに答えることや反論することも含め、立論する練習をする。
- 感情表現、引喩、冗談など社交の場で使われる言葉表現を広く使ってみる。
- タイミングやペースが自然な会話や何か目標を成し遂げるような状況の中で自分の考えを流暢に表現するよう努力する。
- 話を切り出す時または考えるための間合いを取って聴衆をひきつけようとする時、適切な前置きをするように練習する。
- "I agree with X..." や "X has a good point but..." などの表現を使い、自身と他の話し手の意見を関連付ける練習をする。
- 上手に表現出来ない時や言い直したい時に会話の流れを保つために使う適切な表現 ("What I meant was...", "Let me put it another way..." 等) を使えるように練習する。
- 難しい長文をまとめること。
- 質問や中断、話題変更にすぐにかつ適切に応じる練習をする。

SCORE REPORT



テスト用紙番号: 12345678

その他のスコアやレベルとの関係性

Versant English Test と他の英語テストとの関係を調査する研究が行われ、ここにある予測相当スコアはあくまでも本研究中で用いられたデータのみに基づいており、予測スコアを示してはいるものの、他のテストにおける点数を保障するものではありません。

ヨーロッパ言語共通参照枠組	ヨーロッパ言語共通参照枠組で相当するレベル B2 - 自立レベル 自身の専門分野に関する技術的な議論を含め、具体的テーマでも抽象的テーマでも、複雑な文章の本旨を理解することができる。ネイティブスピーカーと、無理なく通常の会話ができる程度の流暢さと自然さをそなえている。幅広いテーマに関して、明確で詳細な文章を作ることができる。また、話されているテーマの論点について、利点と欠点を様々な角度から挙げながら説明できる。
TOEFL スピーキング	相当するTOEFL iBT スピーキングスコア 19-24 TOEFL iBTの スピーキングスコアは、TOEFLテストにおけるスピーキングセクションのパフォーマンスに基づいて採点されています。問題は6問あり、読んだり聞いたりした上で音声で回答します。TOEFL iBTスピーキングの回答は0-4の範囲で評価され、その後0点から30点の尺度に変換されます。
TOEFL 全体	相当するTOEFL iBT 総合点 78 - 107 TOEFL iBT の総合点は、Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクションの点数に基づいています。TOEFLは大学で使われる教材や課題を使いアカデミック英語を測定するとされています。総合点は0点から120点の範囲で採点されています。
TOEIC	対応するTOEICの点数範囲 877 - 920 TOEICテストはリスニングとリーディングセクションから成るマークシート式のテストです。TOEICでは国際的な環境で働く人達の英語コミュニケーション能力を測定するとされています。TOEICの点数は10点-990点の間で採点されます。

Versant English Testとその他の英語テストでは言語能力の中でも異なる構成概念を基に開発されており、あくまでも予測スコアです。研究の詳細をお知りになりたい方はご希望ください。